

特集号
昭和35年12月20日

昭和29年10月15日
第三種郵便物認可

毎月1日発行
定価1部3円

躍進する小田原
(写真はいずれも建設工業新聞社提供)
市長、市議会議員のあいさつ、地域の拡張、人口、財政の推移
写真でみる昔と今のおだわら
建設のあゆみ
(四三二)

目次

広報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市幸1の138
編集兼発行人
莊司忠一
文進堂印刷所
全世帯配布

人口125,015人
男 61,581人
女 63,434人
世帯 26,234
11月1日現在

躍進する 小田原

市制施行20周年記念特集号

昭和15年12月 小田原町、足柄町、大窪村、早川村及び酒匂村
(一部)が合併し、市制を施行

- 16. 3 市長に益田信世氏就任
- 16. 3 市議会議員選挙により議員36名就任
- 19. 6 市長に鈴木英雄氏就任
- 21. 6 市長に佐藤謙吉氏就任、22年4月再選
- 22. 4 市議会議員一般選挙により議員36名就任
- 22. 4 学制改革による6・3制の4中学校を創設
- 23. 3 消防本部及び消防署を設置
- 23. 4 下府中村と合併
- 24. 2 市長に鈴木十郎氏就任、引き続き三選して現在に至る
- 24. 8 第一回市営競輪を開催
- 25. 4 県営小田原漁港修築工事に着手
- 25. 9 第一期水道拡張工事に着手
- 25. 10 こども文化博覧会を開催、引き続き城址公園内にこども遊園地、動物園を開設

市制20年のあゆみ

- 25年12月 桜井村と合併
- 25. 12 市制施行十周年記念式典を挙行
- 26. 4 市議会議員一般選挙により議員36名就任
- 26. 4 国民健康保険事業を実施
- 26. 11 万年大火発生により321世帯リ災
- 27. 10 教育委員会法施行により教育委員会を設置
- 28. 12 天守台復旧工事成
- 29. 3 早川沿岸土地地区画整理事業に着手
- 29. 7 豊川村と合併
- 29. 12 上府中村、酒匂町、国府津町、下曾我村及び片浦村と合併
- 30. 4 市議会議員一般選挙により議員36名就任
- 30. 8 市営城山庭球場完成

- 30年10月 市営城山陸上競技場完成
- 30. 10 第十回国民体育大会(開催軟式庭球、ソフトボール)
- 31. 4 曾我村の一部(4部落)が合併
- 31. 12 自主財政再建計画を樹立
- 32. 10 森林公園内に慰霊塔を建設
- 33. 3 第一期水道拡張工事成
- 33. 6 市立病院第一期建設工事成、病院業務開始
- 34. 2 小田原城天守閣再建工事に着手
- 34. 3 自主財政再建計画完了
- 34. 4 市議会議員一般選挙により議員36名就任
- 34. 7 下水道十力年計画事業に着手
- 34. 11 星崎記念館完成、市立図書館・児童文化館として開館
- 35. 1 し尿処理場建設工事に着手
- 35. 1 がん無料相談を開始
- 35. 4 市立病院第二期工事成
- 35. 5 小田原城天守閣再建工事成
- 35. 12 市民会館建設工事に着手



小田原市長 鈴木十郎

近代都市の形態整う

とそれに伴う占領政策の重圧、戦後の復興と平和国家の建設等政治経済をはじめあらゆる面においてわが民族の何人も経験しなかつたことを短期間に体験したのでありますが、この間市民の皆様、先輩の各位がようその苦難、試験にたえて郷土を守り、その発展につくし、今日の隆盛をもた

ありますが、これを三十年前と比較いたしますと、面積において一・八倍、人口においては二・三倍に増大し、また財政規模を一般会計のみについて十年前の昭和二十五年当初步算と本年度のそれと比較いたしますと約三・六倍に膨脹しております。

枚挙にいとまもないほどであり現に上水道第二期拡張及び下水道敷設工事、し尿処理施設等を継続施工中であり、更に望望の市民会館の新築にも着手しようとしております。これらはいずれも市民生活の水準を高め、あるいは市将来の発展のため必要欠くことのできない事業であり、これに

小田原市長 鈴木十郎

祝いすることができませんこと
は、誠に喜びにたえないこと

らされたことは感謝の言
ないところであります。

活の上においても、最も変転のはげしかつた時期であつたと言つてもよいと思います。国をあげての戦時体制、終戦

つてまいりましたおもな事業
を数えあげれば、公民館、図書
館、児童文化館、競技場、その
他学校教育、社会教育及び体
育関係諸施設の充実、漁港の
構築、区画整理事業の推進、
道路、橋りよの整備、上水
道の拡張、病院の建設、天守
閣をはじめ観光施設の充実等

めて幾多先輩の御労苦に対し、深甚なる敬意を表し、また長年市政に御協力下さった各位に心から御礼申し上げ、本市が今後ますます発展の一途をたどるようひたすら意願いたす次第であります。

小田原市議會議長 山橋勝蔵

昭和十五年十二月二十日、それは昔ながらの城下町としての小田原が隣接一町二村二部落とお互いに手を携え、大きな希望を抱いて市制をしいた記念すべき日であります。それから早くも二十年、たくましく成長した現在の小田原

市の姿をみますとき、感慨ひとしとお深いものがあるのでございます。

この二十年の過程は、日本の歴史の上に未曾有の変遷をもたらしましたことは、市民の皆様方が身をもつてその苦しさを感じてこられたのであります。本市についても市制施行後間もなくして戦時体

問への移行を余儀なくされざるに終戦から戦後にかけての混乱とめまぐるしい行財政の改革等、地方自治体としてはあまりにも大きな試練の連続であつたのであります。しかしながらこの間にあつて市民各位には、市政に対し常に深い理解を寄せられ、諸施策の遂行にあたりまして、あ

今日本市が県西における中心都市として教育、産業、文化その他諸般にわたり飛躍的な発展をなしつつありますことは自他ともに認めることであり御同慶にたえません。

かくのごとき三十年の足跡は、本市が小都市から中都市へと躍進するための確固たる礎石を築いたものと申せま

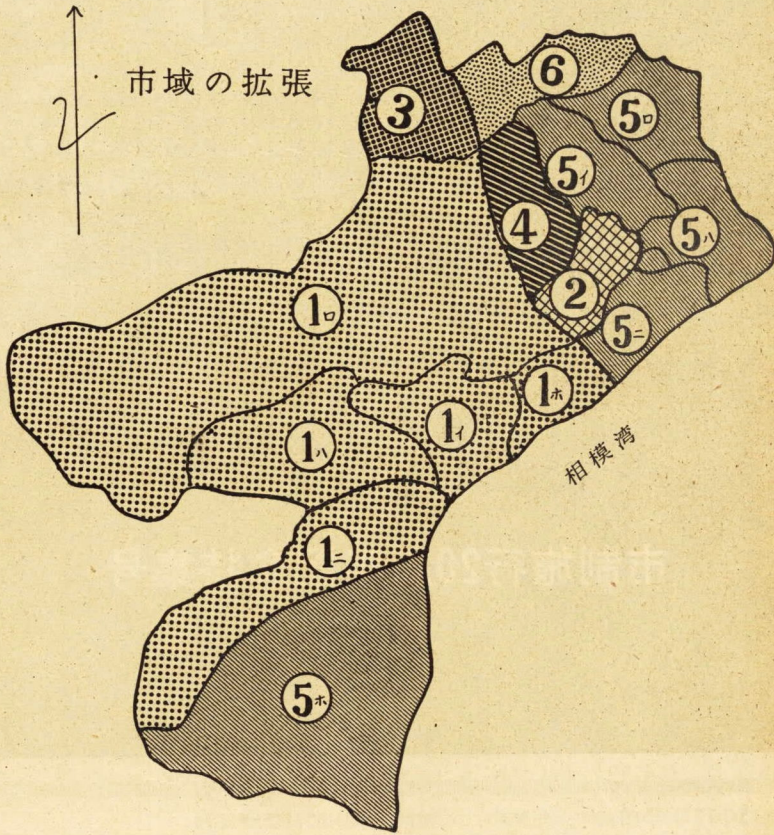
の要望でありました市立病院の完成、さらに市制二十周年記念事業として行なつて参りました天守閣の再建も各方面の御尽力により、本年五月市に現わし得たことなど各位の御承知のとおりでありさらに市行政の各面にわたり、本市将来の発展を左右する数々

の大事業が着々進捗しつつあるのであります。

らゆる御協力をおしめしなかつたのであります。一例を市税の納税状況についてみましても常に百パーセントに近い成績をあげており、全市民がいかに小田原市を愛しているかがうかがえるのであります。深く感謝の意を表する次第であります。

しよう。人生にたとえるならば、ようやく成年に達したのではありません、本市の前途はまさに洋々として開け、将来への明るい希望とこれが実現への意欲に燃えて飛躍すべきときであると信する次第であります。すなわち数次にわたる一施工の興業、市民多年

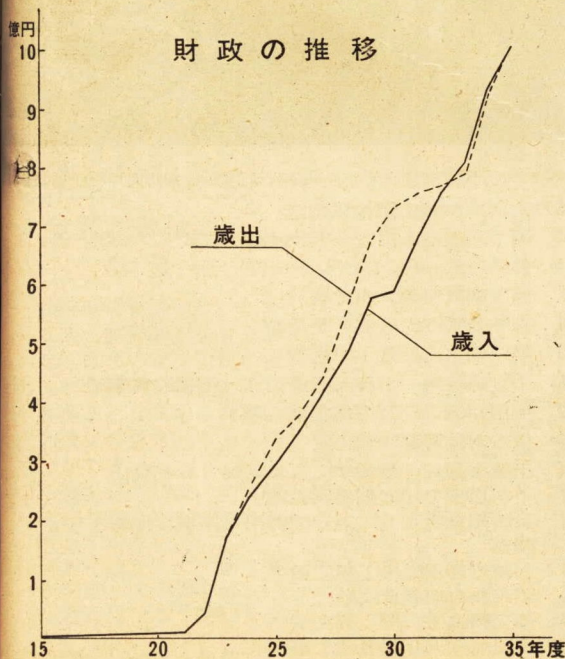
市制二十周年のよき日にあたり、市民の皆様方とともに先聖諸賢の御芳苦に感謝し、この日の感激を銘記いたしました。市勢伸張になお一層の努力を傾注いたしますとともに市民各位の御多幸を祈念いたします。



記号	編入年月日	町名
1 イ	昭和15. 12. 20 (市制施行)	小田原町
1 ロハニホ	同上	足大早酒下桧豊上下国酒片會
1 1	同上	柄窪川
1 1	同上	包府
1 1	同上	中我津
2 2	昭和23. 4. 1	井川
3 3	25. 12. 18	府會府
4 4	29. 7. 15	包浦
5 5	29. 12. 1	村の
5 5	同上	同上
5 5	同上	同上
5 5	同上	同上
6 6	31. 4. 1	我村の一

一 般 会 計		
年 度	(単位千円)	
	歳入	歳出
昭和15年	629	667
2 0	3,287	2,795
2 5	295,434	337,981
3 0	589,764	703,108
3 5	1,063,601	1,063,601

(注) 35年度は11月末の現計予算額



城山から望む現在の市街地



小田原城天守閣の偉容



写真でみる
昔と今の
おだわら



現在の幸交差点付近



昭和二十五年当時の小田原駅前



昭和二十五年当時の幸交差点付近



復旧工事前の荒廃した天守台

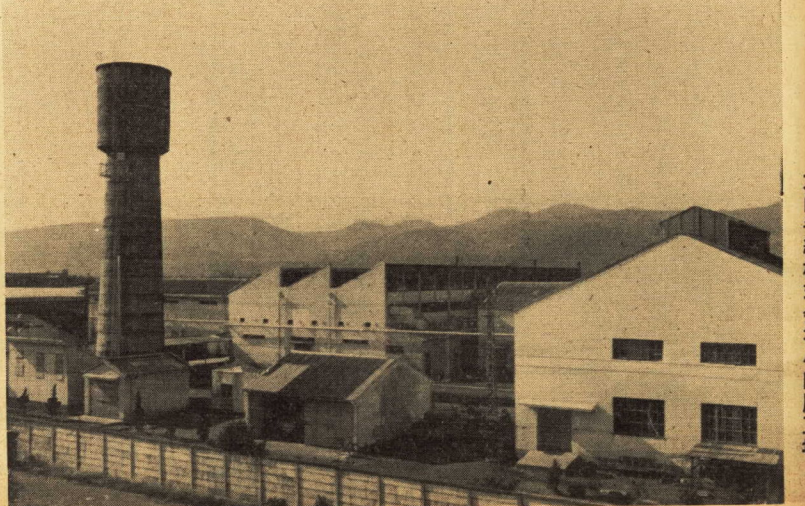
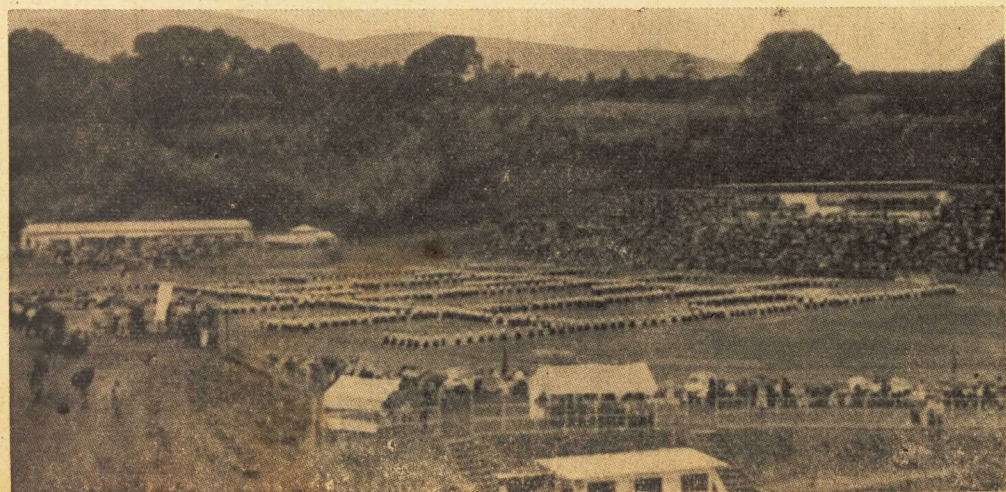
現在の小田原駅前



昭和二十六年着工当初の
市営城山陸上競技場



現在の市営城山陸上競技場



昭和二十七年誘致第一号の
大同毛織株式会社小田原工場

建設のあゆみ

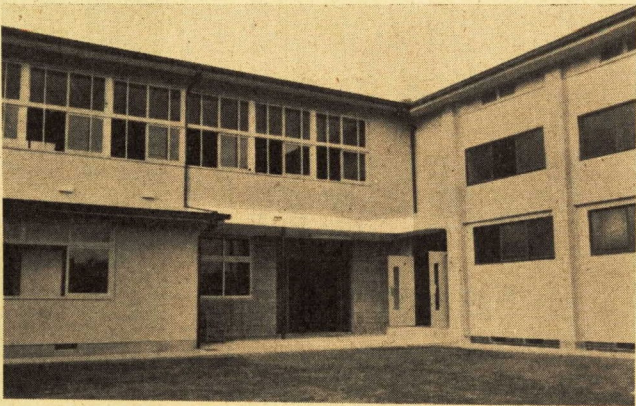
市立病院



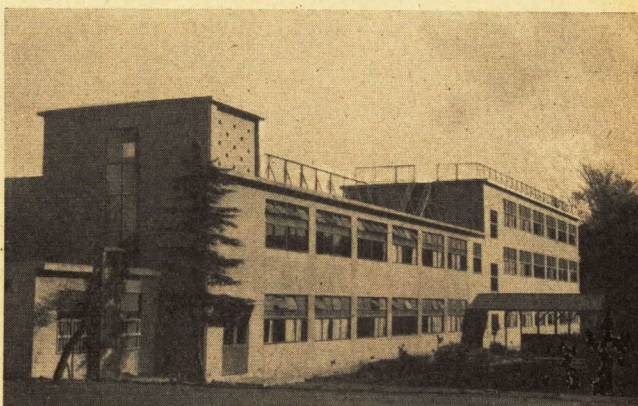
市営住宅 (福井島団地)



星崎記念館

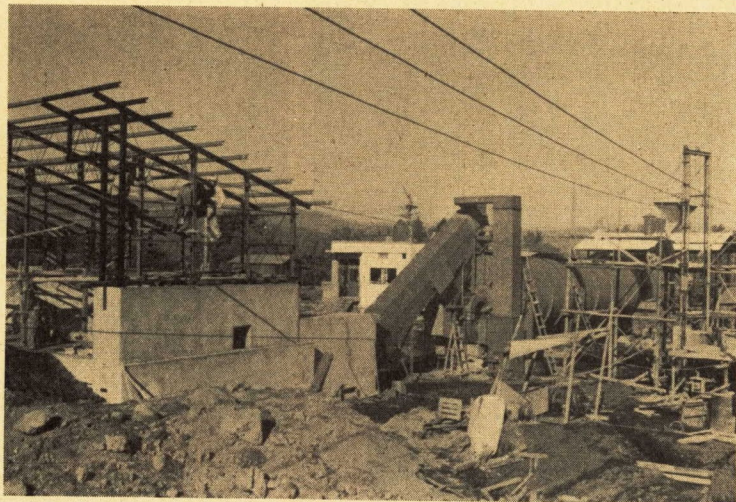
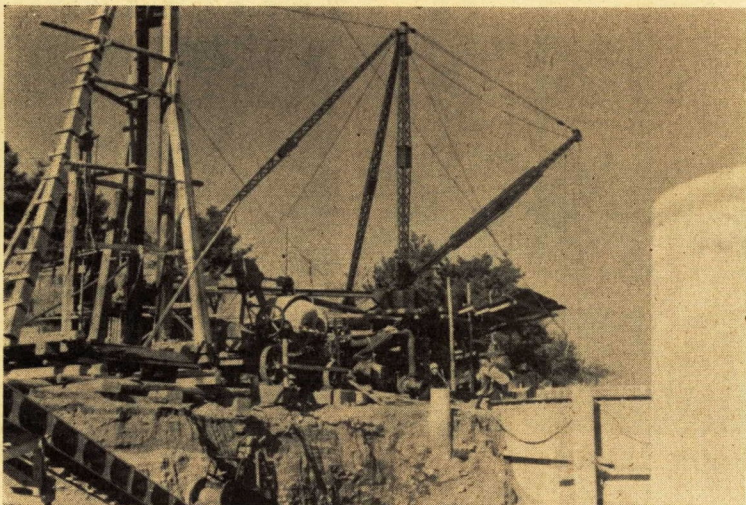


下府中公民館



白山中学校

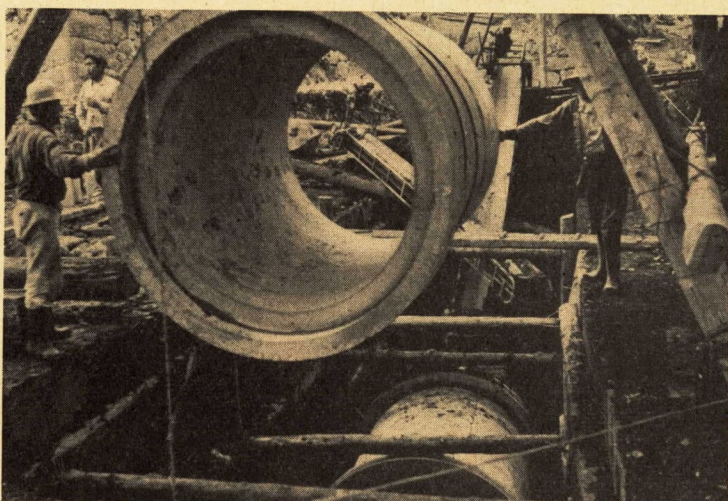
◇第三水源建設工事 (成田地内)
本工事は上水道第二期拡張工事の一環として昭和三十五年一月着工、同三十六年六月に一部送水可能の見込み。取水能力一日二万八千立方メートル。なお第二期拡張工事は、給水人口十三万九千人、給水量一日四万立方メートルを目標とし、昭和三十五年度から期六年計画で施工、総工費約四億七千万円。



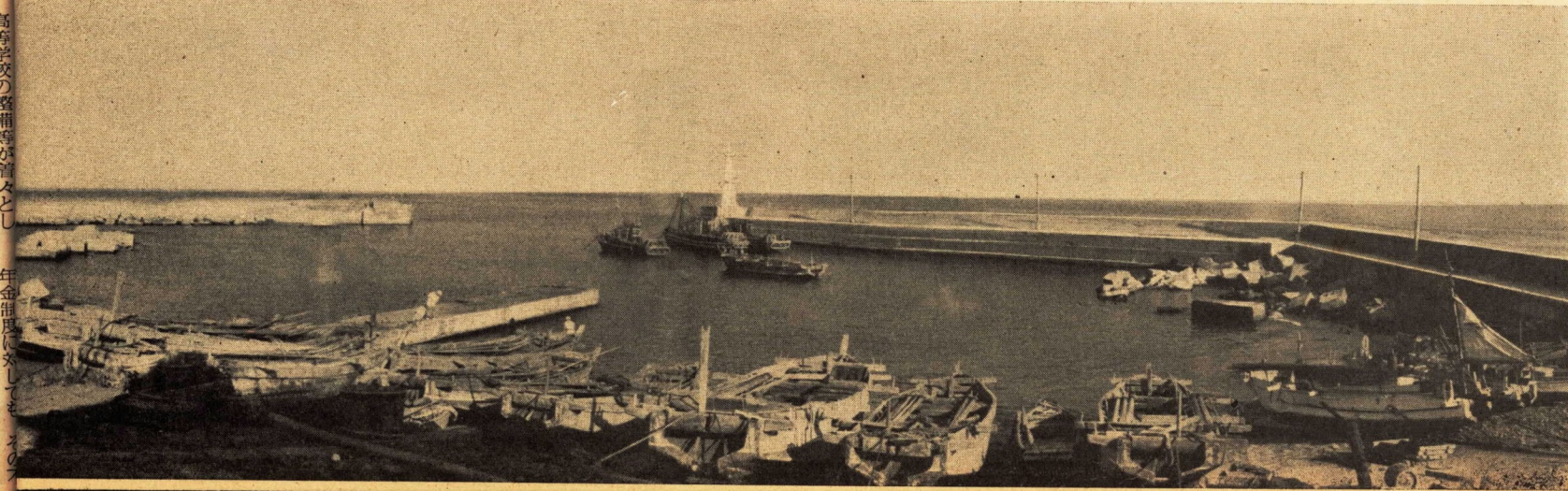
◇し尿処理場建設工事 (諏訪の原台地)
装置 タノ式高速たい肥化処理装置、ネオ加温式し尿促進消化装置
能力 一日にし尿じんがい各三十六トン処理し、たい肥十五トンを生産
昭和三十五年一月着工、同三十六年三月完成の予定、工事費約一億二千万円



◇大窪橋橋りょう架設工事



◇下水道整備事業
昭和三十四年度着工、同四十三年度完成の見込み
総工費約八億円 (うち相当額の補助、起債を見込み)
なお、計画排水面積は四四五・五ヘクタール、排水人口は二〇二、三三五人。分流式 (汚水と雨水を別々に流す) を採用。



◇小田原漁港修築事業 (早川地内)
第二種漁港 昭和二十五年度着工、同四十一年度完成の見込み。
すでに南防波堤二八メートル、東防波堤二四メートル、灯台等を完成し、目下内港掘さぐ工事が進ちよく中
総工費約八億六千九百万円